

口腔とフレイルの関係

—「ケアリング・ケア職種」の観点から—

現在「フレイル」について触れられる時、ほとんどが高齢者や要介護者を対象に、「キュアリング・ケア職種（※医師）」「ナーシング・ケア職種（※看護師）」からの発想、つまりは「フレイルになったらどうするか？」の観点からの予防や対策についてが主とされますが、我々「歯科関係者」等の「ケアリング・ケア職種」は、それら高齢・要介護者への介入や関与に携わるだけでなく、「フレイルにならないためには、どうすれば良いのか？」「ならないためには、いったいつの頃からクサビを打てば良いのか？」等についても、仕事柄常に考えています。今回、それらについて少し紹介させていただくので、皆様方の専門職の立場としてだけでなく、子や孫を持つ身、これから持つ身として、あるいはご自身のフレイル予防のために耳を傾けていただければ幸いです。

開催日時 2022年 **12月2日** **金** **18:00▶19:30**

参加費 **無料**

対象

- 看護職をはじめとする医療にかかわる方々
- 学生や休職中の方々も参加OK
- 有資格者でなくてもOK
- 医師・歯科医、介護・福祉関係の方もご参加ください

お申込み

アカデミア看護研究会に会員登録（無料）のうえ、お申込みください。準備ができ次第、事務局からZOOMのURLをご連絡いたします。

講師

県北西部地域医療センター
国保和良歯科診療所 & 歯科保健センター

所長 南 温 氏

大阪府出身。岐阜歯科大学（※現 朝日大学）卒業後、現在では考えられないが、卒業半年しか経たない1984年9月3日に「旧 和良村国保病院歯科」に赴任し、2000年4月に「和良村国保歯科診療所」として「歯科」単独の診療所として独立。その後町村合併を経て名称が現在の「県北西部地域医療センター国保和良歯科診療所」となり、この12月3日で赴任「38年3ヶ月」目を迎えた。

赴任当時「全人的・全身的な包括的口腔ケアで健康で長生きを！」を基本理念とし、単に外来歯科診療を行うだけでなく、「乳幼児～高齢者」「障害者」「医科診療所・高齢者施設・在宅」等々、あらゆるライフステージや生活場所の全地区住民に対して、「歯科の保健・医療・福祉」あるいは「口腔機能リハ」等の「包括的口腔ケア」を実践し、地区住民の「健康で長生き」に寄与することを目指してきた。

アカデミア看護研究会とは？

看護職をはじめ医療にかかわる皆様が、就業継続をしながら学び続ける機会を提供します。研修会、講演会、ワークショップ、研究討論などを通し、情報交換や会員相互の親睦を図ります。

●アカデミア看護研究会の活動のご紹介

定例会：隔月 第1金曜日 18:00～19:30 隔月①学習会、②支援会を交互に開催いたします。
学習会：労務管理、人事管理、人事考課、労務環境と身体との関係、医療現場のICT化の最先端情報、医療現場のAI化の最先端情報、海外事情の他、リベラルアーツの学習や本の読み方など、多彩な講師陣を予定しております。

連絡先

アカデミア看護研究会会長
中島美津子 (m-nakashima@thcu.ac.jp)

●会員登録のご案内

<http://ns-aca.com/join/>

●第28回学習会の詳細・お申込み

<http://ns-aca.com/学習会/20221202/>

会員登録係

看護職の採用と定着を考える会事務局
(info@rsn-kango.com)

会員登録が
まだの方は
こちらから



アカデミア看護研究会

検索

